

第564号



喬木村公民館：長野県下伊那郡喬木村6664



発行日 2016年 3月16日
発行責任者 喬木村公民館長 原 美穂
編集責任者 公民館編集部 長 仲 田 久 志
印刷 龍共印刷株式会社

第四回喬木村公民館平和学習会

昭和史の学び直し講座 戦争は避けられなかったのか…

学校では教えてもらえない、教科書では学べない歴史というところで、今回も長野県立歴史館 学芸部長の青木隆幸先生にお話していただきました。

二月十九日、当日は村内外から約三十名の方が参加して下さり、遠くは泰阜村からの方や、全く新しく参加してくださる方もいて、関心の高さを感じました。今回は、戦争に至る経緯こそ学ばべき、ということと、大東亜戦争の始まりと終結までを分かりやすく解説していただきました。開戦時から、日本は「何のために戦争をするのか」という目的も戦略も終結の見通しも考えられていなかった。

「これだけのダメージを与えれば、相手国が戦意を喪失するだろう」といったあまり想定のもと、他方本願で和平へ持ち込もうとしていたのではないかと。妥協的和平をめざすなら、あらかじめ調停国を依頼しておくべきなのに諸外国との外交の不在、兵士の人権無視（突撃、玉砕、特攻）、学ばないリーダーと組織、改ざんされた戦績。

もし日本が戦争を踏みとどまっていれば、三三〇万人の英霊という名の無意味な死者を出すこともなかったのでは…。「英霊を讀める社会より、英霊を作り出さない社会の方が幸せだと思いませんか」と結ばれました。

参加者の中には戦争体験者もいて、自分が体験した戦争の本質をわかりやすく説明してもらえてよかったとか、戦時中多くの方が命をおとす中逃げまどった、恐ろしかった思い出を話された方もいました。

戦争体験のない方も、今の政府の動きが戦争に巻き込まれるという怖さという感想もいただきました。昭和史を学び直し、私たちが



青木先生の講話を多くの皆さんが聴講

ちの子孫が戦争に向かうことのないよう、学習を重ねていかなければならないと改めて感じました。

平成二十七年年度の平和学習会はこれで終了しますが、二十八年度も講座や見学等計画しておりますので引き続き多くの皆様のご理解とご参加をお願いしたいと思います。

(平和学習会実行委員会)

マシュマロを使ったお菓子づくり 図書館おたのしみ会

たりと工程はとっても簡単です。ただ、今回は予想以上の参加人数のため家で作る時より色々と時間がかかってしまい、大人が少し大変でしたが、なんと形にすることが出来ました。



興味津々。材料が混ざるのを真剣なまなざしで…？

あの時

「タンポポよ 人に踏まれず 根っこはれ」これは小学校二年生の俳句ですが、タンポポの黄色の花は暖かな春の訪れを告げてくれます。

試しに根っこを掘ってみると掘りきれずに途中で切れてしまいました。鉛筆ぐらいのタンポポの根が1mになることも珍しくないのだそうです。

冬の間、タンポポは葉を低く地面に垂れて、冷たい風から葉を守っています。

春が近くなると、タンポポは新しい葉をのびし、晴れた日につぼみが開き始めて花が咲きます。

葉が踏まれたり摘み取られたりしても、根はしっかりと生きていて、次々に新しい葉を作り出します。

花をよく見てみると、一本の花は小さな花の集まりです。花の数を数えてみたら、小さな花が二四〇もついていた。この小さな花に実が一つずつできるようになっていきます。

花が終わると、実が育ってきます。実が熟すまでの間、茎は低く倒れ、総苞をしっかりと閉じて身を守っています。

実が熟すと茎は起き上がって高く伸びます。そしてある晴れた日に綿毛が開き、高く伸びた綿毛には風が良く当たり風に吹き飛ばされます。

軽くてふわふわした綿毛は、親株を離れ、風に乘って遠くへ飛んでいって、新しい土地に根を張り、次の年には花を咲かせます。

私たちは地面から出ている茎とか葉っぱとか花は目にするのですが、タンポポは生きていくために必要な水や栄養を根っこから取り入れるために茎の何倍もの根を張り、暖かい春が来るのをじっと待っているのです。

やがて暖かくなるとおひさまのように黄色に輝く花を咲かせてくれます。

我々も「根気」という言葉をよく使いますが、タンポポのようにいるなものを吸収できる根っこをしつかり張って、仕事でも勉強でも運動でも苦しいときにはじつと耐え、いつかは自分らしい素敵な花を咲かせたいものです。

文化財 再発見 シーズ 23

氏乗の事の神送り

氏乗区長 伊藤 勝司

氏乗の事送りは、月遅れの三月八日におこなっています。午後一時に年番、下氏乗一名、中反一名、上氏乗一名の三名の年番がお庚申堂に集合し、準備をします。藁を束ねた径二十センチほどの輪に幣束三本立て、長さ一メートルほどの竹の棒を二本さして肩で担ぐお神楽とよばれるミコシ

氏乗区長 伊藤 勝司
お神楽の輪の中にも洗米を摺ってシロコを作って重箱を入れ、お神楽に載せまします。準備が整ったからお神楽を床の間に置き、お祓いをし、お神酒を頂き、氏乗を一巡します。

現在氏乗では、小川川最上流の本谷地籍の小豆畑を



お神楽とよばれるミコシ

貼りつなぎ旗を作り「奉納風の御神」と墨で書き、下台に集めます。上流から下流と下氏乗の集落の境界大岩の場所まで行き、笹竹、お神楽を捨てます。

昔は各道路を回り、途中住民に出会うと、シロコのコクを、重箱より笹舟に載せて渡しました。

現在笹竹の旗を出す家庭も半分位になっています。昭和三十年代頃は住民が「事の神」が来るのを待っていて、コクをもらい、悪病神を追い払った、子供達も一緒に回り賑やかでした。各家庭では前日に色紙を



お母さん方大活躍！

第33回

ふるさとづくりアオーラム

たかぎ村 再発見



丸山実行委員長あいさつ

第三十三回喬木村ふるさとづくりフォーラムが二月十四日福祉センターにて開催されました。今年のテーマはたかぎ村再発見です。このフォーラムが始まった頃お生まれになった方々が今、喬木村の中心になろうとしております。この様な若い方々、子供さんや年配の方、大勢の皆様が参加され、みんなで喬木村のことを考える良い機会となりました。

今年には二つの分科会で、おとう実行委員会、第一分科会は「喬木村ご自慢マップ作り」、自分の家の近くの自慢する場所とか、催しとか、食べ物とか、色々と地図に書き込んでマップ作りをしました。

第二分科会では「よってかまいか井戸端力フェ」、喬木村の食材など利用して大きなパフェなどを作り、お茶やコーヒやジュースなどを飲みながら、子供さん



喬木村ご自慢マップ作り分科会を説明 飯島リーダー

女性の方、男性も加わり、わいわいがやがや喬木村のことを気楽に話し交流を深めました。

回を重ねる度にフォーラムも自戦的になって来ております。

フォーラムに参加すること、が村づくりに参加することにつながると思います。是非積極的にご参加下さい。

長く喬木村に暮らしていてもまだまだ知らないことも多いですし、大勢の方々に会って話をする事によって喬木村の良さも知ることができると思います。

喬木村は今後、三遠南信自動車道やリニアの工事の関係の方々が入って来ると思いますが、そのような皆さんが喬木村の良さにふれて村に定住していただければうれしいことです。

最後になりましたが、ご来賓として出席をして戴きました市瀬村長様、村議会議長小沢様、又、本館の社会部の方、フォーラムに係る方々にお礼を申し上げます。

マップづくりは、村内の名所や花などの見どころの写真を数人の方に提供して頂いて、フォーラムに向けて準備して参りました。

また、当日は村内の白地図を大きく三か所に分けて準備していただき、参加者の皆さんを班分けして、それぞれ自分の住んでいる地域の地図上に写真を貼ったり、ポイントをマーキングする作業をやっていたいただきました。

作業を始めてみたら、準備した写真だけでは足りないほどいろいろなものが出されて大わらわでした。

地点によってはいわれなどが分からないところもあって、それぞれ地元の方が説明をされている場面も見受けられました。

終わって見て、今回の作業で作り上げたマップを村のガイドブックなどの冊子に使っていただければと感じました。

終わりに今回ご協力頂いた皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。



参加者が出身の地区に分かれマップ作り



「喬木村の躍進」

フォーラム実行委員長 丸山 洋行

実行委員長あいさつ

二月十四日(日)福祉センターを会場に、第三十三回ふるさとづくりフォーラムが開催されました。村づくりをみんなで考えていこうということで始まったこのふるさとづくりフォーラムは、公民館社会部が中心となって進めている事業です。

公民館社会部では昨年六月から打ち合わせを始め、各分館の役員の方や学校・保育園の関係者等で「ふるさとづくりフォーラム実行委員会」を組織し、準備を進めてまいりました。

十月に一回目の実行委員会が開かれてから、約半年にわたり、テーマ、分科会の構成、実施方法など検討を重ね、テーマは、昨年に引き続き「たかぎ村再発見」とし、リニア開通に向けたこの機会に喬木村をもう一度見直してみようということで、二つの分科会を行うことになりました。

一つは、みんなが知ってる・自分しか知らない喬木村のいいもの再確認、参加者が作り上げる喬木村の新しい地図「喬木村ご自慢マップ作り」分科会。

もう一つは、喬木生まれの食材を使って、大人も子供も一緒にジャンボパフェを作って食べて「わいわいがやがや 喬木のことを語ろう!」「よってかまいか井戸端力フェ」作ろうたかぎ自慢パフェ」分科会。

当日は、五十名程のご参加いただき、最初から地図作り、パフェ作りと楽しい時間を過ごしていただきました。

ご参加いただいた皆様と、多くの実行委員の皆様のご協力のもと、今回のフォーラムを無事終えることができました。心より感謝申し上げます。

ふるさとづくりフォーラムの感想

分科会①リーダー 飯島 誠



出来上がったご自慢マップでたかぎ村再発見

学校支援ボランティア感謝の会開催

本年度学校支援ボランティアにご参加いただいた皆様への感謝の会を2月23日に行いました。

それぞれにお忙しい中、本年度は百余名の皆様に村内の4つの学校に学習支援、環境整備、行事の際のお手伝いなどのボランティアに入ってくださいました。

特に部活動の指導など、土日もなく一年間継続して子供達の指導に当たっていただいている皆さんもあり、感謝の申しようありません。

学校の応援団として、これからもボランティアの充実を図っていきたいと思いますので、ご協力のほど宜しくお願い致します。



NPOたかぎのロールケーキ

分科会の名前を決める時、カフェとパフェのゴロの合った響がみんな妙に気に入って、喬木では作っていない。グループ毎に作りたパフェの構想を練り、イラストにしていこうと、和気あいあいのパフェ作りスタートです。パフェに使った主な

「何か食べながら気軽に喬木村のこと話せたらいいんじゃないかな。」「ただ食べるだけじゃなくて、作るところからやったら子供から大人までみんな楽しめそう。」そんなところからこの分科会のかたち作りが始まりました。

「器に富田焼のお皿使えないかしら。」ということで貴重な富田焼のお皿も快くお借りでき、器まで喬木産で準備することが出来ました。当日は、目を輝かせた子ども達から、童心に帰った？かつての子ども達まで幅広い年齢層の方々に参加していただきました。



よってかまいか井戸端カフェ分科会 岡安リーダー

ふるさとづくりフォーラムの感想
「よってかまいか井戸端カフェ」
「作るうたかぎ自慢パフェ」
分科会②リーダー 岡安 淳一

「器に富田焼のお皿使えないかしら。」ということで貴重な富田焼のお皿も快くお借りでき、器まで喬木産で準備することが出来ました。当日は、目を輝かせた子ども達から、童心に帰った？かつての子ども達まで幅広い年齢層の方々に参加していただきました。

「器に富田焼のお皿使えないかしら。」ということで貴重な富田焼のお皿も快くお借りでき、器まで喬木産で準備することが出来ました。当日は、目を輝かせた子ども達から、童心に帰った？かつての子ども達まで幅広い年齢層の方々に参加していただきました。

喬木産の食品、加工品は以下の通りです。いちご・いちごのロールケーキ・いちごのドライフルーツ・ブルーベリー・リンゴ・干しイチモ・さくらの園さんのぼぎぼぎ菓子。

公民館本館 部員募集！ ～いっしょに活動してみませんか～

興味のあることや学んでみたいこと等、一緒に企画、実践してみませんか！
喬木村公民館では本館四部の部員を募集しています。各部とも生涯学習の柱となる活動を行っています。詳しく知りたいことなど問い合わせは公民館事務局までお願いします。

- 編集部 公民館報の取材と編集を行っています。
- 教養部 楽遊塾の企画実施、絵話や読み聞かせを行っています。
- 社会部 文化祭やふるさとづくりフォーラム等の企画実施をしています。
- 体育部 分館対抗球技大会や駅伝等体育大会の企画実施をしています。

お問い合わせ先 喬木村公民館事務局
電話：33-2002 FAX：33-3682
メール：kyouiku@vill.takagi.nagano.jp



ジャンボパフェを試食し喬木村を語る！



喬木産の食材でデコレーション

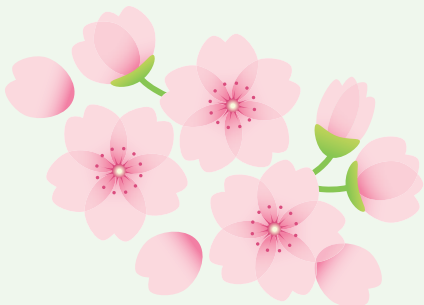
参加者アンケート

感想と次回への提案

- 喬木村の特産品などのことが分かったのがよかった。
- 人集めの工夫を。気楽な気持ちで参加することができました。
- 村に住んでいても知らなかったことが多く地区も良く見聞きできていなかったこともわかりました。この情報を元に村外の方々に知っていただくために役立てていただいて情報誌の作成にもつなげていただきたいと思います。
- 内容は良かった。特に村の特徴ある場所の再確認ができ、又地元食材で作った井戸端カフェも良かったが参加者が少なかったのが残念。
- 珍しい取り組み(井戸端カフェ)に参加でき喬木村の産物も食したりふれたりできてよかったです。
- 内容は良かった。特に村の特徴ある場所の再確認ができ、又地元食材で作った井戸端カフェも良かったが参加者が少なかったのが残念。
- 珍しい取り組み(井戸端カフェ)に参加でき喬木村の産物も食したりふれたりできてよかったです。
- 新しい発見ができた。人数集めの工夫が必要。マップの中の印字された文字が見にくかった。
- マイクの音量をもう少し上げてください。もう少し子供向けな雰囲気があっても良いのではないのでしょうか。楽しかったです。ありがとうございます。
- ドライフルーツめっちゃ美味しかったです。
- パフェで甘いものを作ったのでおかずみたいなものに挑戦してみても面白いと思います。ロールケーキ初めて知りました！生地がしっとりしていてとてもおいしかったです。
- みんなでジャンボパフェを作った楽しかった企画だと思いました。ふだん考えない喬木村のことが知れてよかったです。
- 大変有意義なフォーラムでした今後に活かしていきたいと思ひます。
- みんなで協力して作れることができてとてもうれしかったです。また来たいです。
- 喬木村の食べ物があるにいいっぱいあるなんて初めて知ってびっくりしました。
- じゃうずにありあわせができてよかった。
- 人と楽しくパフェを作れてよかったです。
- 皆様に紹介していただけて大変良かった。多くの方に知っていただけただけでも良かったです。楽しみです。喬木村の今後の発展を期待しています。
- 何か自分にできることがあれば行動していきたい。
- とても楽しく満足のいく会だったので大変いい会だなぁと私は思います。協力して楽しく出来ました。

やってほしいこと・取り組んでほしいこと等

- もっと大勢の子供や住民にお知らせして大勢が参加してもらいたい。子供が女性が集まらなければ。
- 食の面で原料は喬木・下伊那産でなくても食品そのものがこの地方独特のものがいくつもあります。オタグリ、酢サバ、塩いか、鯉甘煮、おやき・・・このような食品の掘り出しをする食に関するアイデアがもっと増えるのではないのでしょうか。十年後を見据えもっと活発にやりましょう。次回も参加させていただけます。
- スイーツ系だけじゃなくておかず系のもよいのでは？くりん豚食べたいです。
- やったやりっぱなしな感じがするので何かに活かさないかなと思いました。
- 「よってかまいか井戸端カフェ」はおもしろかったのでつづけてください。
- 手作りのくをしたい。
- マップ作りのとき、じつさいに外に少し行ってみれば知っていること以外、新たな発見があると思います。時間、場所を決めればよいと思います。



第三十八回
棕鳩十賞読書感想文コンクール
棕鳩十賞・優秀賞作品発表

棕鳩十賞
「熊野犬」

理論社



マヤと主人公が過ごした日々

喬木村立喬木中学校 一年 田中詩野

この話は夏のある日、妻
子が出払い少しわびしく思っ
ていた主人公の元に、弟か
らの便りが届くところから
始まる。「近いうちに熊野犬
を送る」というその手紙を
受け取った主人公の心情は
書かれていないが、頭の中
には疑問符が飛び交ってい
たに違いない。

かみたくつてあるのを主人
公が発見し、子犬にお仕置
きをしているが、私は、子
犬だから仕方ないと思うし、
主人公も気付いたのか、子
犬の鼻をはじいたことを反
省している。

その二週間後に熊野犬が
着く。子犬のうるみを帯び
た黒い目、尾を振り立てる
様子、手のひらをなめる仕
草の全てが可愛く思える主
人公の気持ちはよく分かる。
私も犬を飼っているのだが、
小さな耳や元氣よく尾を振
る様子を見ていると、思わ
ず笑みがこぼれてしまうも
のだ。だからこの主人公も
子犬を床の中へ一緒に入れ
てやったのだろう。翌朝、
枕元に置いてあった原稿が

一か月後、妻子と子供た
ちが帰ってきて、子犬は土
間で寝ることになる。子犬
はマヤという名をつけられ、
一年たつと形の美しいたく
ましい犬になった。主人公
の家ではネコ、ニワトリ、
ウサギ、ヤギを飼っていて、
マヤは教え込んだ訳ではな
いが自分の家の家族で、自
分が守ってやらなければな
らないものだと思っていた。
だから、ニワトリの親子に
ご飯を盗られて突かれたり
しても怒らない。普通の犬
ならニワトリを攻撃してい
まいそうなのに、マヤはしっ

かり判断をしていて賢いと
思った。だから、マヤがウ
サギを狙っていたお隣りの
ネコを殺してしまったとき、
主人公はとても困ったに違
いない。マヤはウサギを守っ
ただけだが、ネコを殺して
しまったことをどうやって
お隣りに説明したら良いの
か。結局見つかり、主人公
は自分の体面を作るために
マヤを殴ってしまう。決ま
りが悪いからとマヤを殴り
つけるのは、最低な行いだ
と私は思う。それでもマヤ
は殴られるまま、殴られて
いたのが不思議でならない。

する。マヤの最後の夕食は
米。そこにはマヤの無事を
祈る家族の願いがあったと
思う。

は最後に飼い主の声を聞い
て息絶える――。
主人公は自分のことを「ず
いぶん自分勝手な飼い主で
あった。」と言うが、マヤ
は主人公のことを最後まで
慕っていたのだろう。私は
戦時中の日本において、こ
のような犬と人間の悲しく
も美しい物語が本当にあっ
たことを信じている。

棕鳩十賞

「ネズミ島物語」

ポプラ社



読み比べる

長野市

山口真一

『ネズミ島物語』は、実際
の事件を下敷きにして書か
れているが、同じ騒動に材
を求めた小説には吉村昭の
中篇『海の鼠』がある。両者
を読み比べてみたところには
何が見えてくるだろうか。

類似点は少なくない。突
如として発生したネズミ。そ
れがまるで小さな怪獣軍団
さながらに作物を荒らし、
島に跋扈する。陳情を受け
た役所の反応は鈍く、島の
惨状はなかなか伝わらない。

このころ欠乏した食糧事
情を切り抜ける策として、
飼いは全て殺すようにとい
うふれが出る。主人公は
マヤを出すことを拒み続け
たが、子供たちは犬を出さ
ないために「非国民」と言
われてしまう。そうして、
主人公はマヤを出す決意を

難破船で最初のネズミに遭
い、いよいよネズミが里
に出現すれば真つ先にかん
しゃく玉で迎撃する。島を
訪れた大久保さんと最初に
出会った島民も彼らなら
騒動に便乗して訪れた怪し
い男たちの正体も見破る。そ
して何より、大久保さんに
アシ細工を習って周囲へ広
め、騒動に終焉をもたらす
きっかけを作った殊勲も三
人組だ。

いたずらをはたらく場面は、
悪ガキの真骨頂だ。
ところで、この子たちは
その後どうなったことだろ
う。『海の鼠』に戻れば、こ
ちらは、ある登場人物の視
点を通して「鼠すら見捨て
た島にしがみついて生きつ
づける村の者たちの生活を
思い起こした」という、忍
従の暮らしを続けてきた島
民たちへの、ある種突き放
したかのような思いを吐露
させて終わる。

『ネズミ島物語』も、騒動
が集結して十年経った島に
語り手自らが登場する。「あ
のひどい苦しみも、忘却の
かなたに、きえさうとし
ていくのだ」と虚無感を漂
わせて締めるが、こうした
終末部にも似て非なる相違
が見出せる。物語の随所に

顔をusstてきた三人組は
「漁船の船乗り」になり、島
での「かさづくり」の始祖
になったことが明記されて
いる。
島を開墾し、自然のバラ
ンスを崩して築いた営みへ
の天罰のようにネズミが襲
い、消えていった。その後
の島に、どう人は生きるの
か。新しい生き方を求めて
再び歩み出す若者の姿が示
唆される。彼らやその仲間
家族は、漁をしつつアシ細
工を続けながら自然と共存
し、経済ともそれなりにう
まく付き合える生活を拓い
ていくだろう。人が為した
誤りならば、その是正が成
せるのも人だ。どうにも侘
しさが拭えない結末であっ
ても、新しい世代が担う
「次への一縷の希望を残す
のではないかと思う。

たかぎ短歌会

如月歌会詠草

雪被り小さく震える福寿草古き番傘広げ差し懸く
特養のホールに餅花飾られて幼き頃の父母をし惚ぶ
JAが集めて送るとふ難民の衣類を探し丁寧にしたむ
元朝の豚舎の日差し明るみて仕事始めに夢を誓いし

小椋 りよ
関島 春子
田中 妙子
知久 美子

はつらつと県大会に飛びはねる六人だけのバレーのチームは
ランチ会友と出掛けるそん日は夫の好物チャーハンつくる
「二、三日の留守なるから頼む」とぞ隣の夫婦は旅に行きたり
商魂に乗せられたるか節分の恵方巻き選る列に加はる
朽ちし葉のいつしか落ちて蠟梅の咲き揃ふとき黄の色明かし
わが里の辺り一面雪化粧かざこし山がくつきりとなつ
花形に切りて障子を繕えばひとり部屋にも冬の華やき
房州の菜花の緑スパーに早々伊那の谷に春呼ぶ

市瀬 准子
木下 寿子
木林 睦枝
内山 和子
元島 康子
原 健彦
大村 初見
福澤 亀人

んが苦悩するのを尻目に、
島を舞台にやんちゃな活劇
を繰り広げる少年たちの姿
は、激増していくネズミ被
害にやりきれなくなる展開
に清涼剤のような効果を与
えてくれる。ネズミ退治を
「ばつさま」に珍しく褒めら
れた直後、かんしゃく玉で

難破船で最初のネズミに遭
い、いよいよネズミが里
に出現すれば真つ先にかん
しゃく玉で迎撃する。島を
訪れた大久保さんと最初に
出会った島民も彼らなら
騒動に便乗して訪れた怪し
い男たちの正体も見破る。そ
して何より、大久保さんに
アシ細工を習って周囲へ広
め、騒動に終焉をもたらす
きっかけを作った殊勲も三
人組だ。

いたずらをはたらく場面は、
悪ガキの真骨頂だ。
ところで、この子たちは
その後どうなったことだろ
う。『海の鼠』に戻れば、こ
ちらは、ある登場人物の視
点を通して「鼠すら見捨て
た島にしがみついて生きつ
づける村の者たちの生活を
思い起こした」という、忍
従の暮らしを続けてきた島
民たちへの、ある種突き放
したかのような思いを吐露
させて終わる。

『ネズミ島物語』も、騒動
が集結して十年経った島に
語り手自らが登場する。「あ
のひどい苦しみも、忘却の
かなたに、きえさうとし
ていくのだ」と虚無感を漂
わせて締めるが、こうした
終末部にも似て非なる相違
が見出せる。物語の随所に

編集後記

幕切れは、棕作品ならではの
味わいだ。

先日、ふるさとづくり
フォーラムに参加した。

村の「自慢マップ」をつく
たり、ジャンボパフェを作
り、村についてみんなでき
ろいろと話してみようとい
うフォーラムだった。

村には知らなかった場所
がけっこうあったし、リニ
アがどこを通るのかという
話の中で、地図を見ながら「阿
島北のこの所」と話したら、
「いや豊丘に出るんだに」と
いうような会話ははずみ、
楽しいフォーラムになった
のではないかと思う。



青空の下で悠々テニス



ヨガでリラックス



フラダンスの発表会



たかぎスポーツクラブ 平成28年度会員募集中！

0歳児から高齢のかたまでが幅広く活動している「たかぎスポーツクラブ」では、平成28年度4月からの会員を募集中です。
今回は主に日中に参加したい方にオススメの教室をご紹介します。

オススメ① 悠々テニス

- 内 容：無理なく、ゆったりと楽しくテニスをプレー。
- 日 時：毎週金曜日 午前10時～11時半
- 会 場：運動公園テニスコート
- 参加費：チケット2枚（約400円）／回

オススメ③ 健康太極拳

- 内 容：太極拳の型を楽しく（覚えなくて大丈夫！）
- 日 時：毎週水曜日 午前10時半～12時
- 会 場：福祉センター多目的ホール
- 参加費：チケット1枚（約200円）／回

オススメ⑤ にこにこコグニカフェ

- 内 容：楽しく認知症予防運動や脳トレなど。
- 日 時：主に毎週平日の午前中と火曜日の夜
- 参加費：1,000円／月
- ※日時・会場は複数ありますので、詳しくはお問い合わせください。

オススメ② フラダンス

- 内 容：フラダンスの練習・発表会など。
- 日 時：第2・4土曜日 午前10時～11時
- 会 場：福祉センター
- 参加費：チケット1枚（約200円）／回

オススメ④ シェイプUP体操

- 内 容：軽い筋トレやストレッチ運動。
- 日 時：第1・3火曜日 午前10時半～11時半
- 会 場：福祉センター多目的ホール
- 参加費：チケット3枚（約600円）／回

オススメ⑥ リラックスヨガ

- 内 容：誰でも無理なくできるヨガ。
- 日 時：第1・3水曜日 午後2時～3時15分
- 会 場：福祉センター多目的ホール
- 参加費：チケット2枚（約400円）／回
- ※火曜日夜の回もあります。

どの教室も参加にはたかぎスポーツクラブへの入会（年会費2,000円）が必要です。
お申し込みは福祉センター内のクラブ事務局でお願い致します。初めての方は体験も
できますので、お気軽にお問い合わせください。（電話 33—2002）